



藤枝市中ノ合26-1  
 医療法人社団 <sup>しまが</sup>八洲 <sup>かい</sup>会  
**誠和藤枝病院**  
 <054>638-3111(代)  
 診療時間  
 月～金  
 午前9:00～午後5:00  
 土  
 午前9:00～正午12:00

### 『雑感』

誠和藤枝病院院長 浅川 建史

『ヒルズ族』とか『勝ち組』の象徴的な存在であった情報関連産業の若い取締役が、証券取引法違反で逮捕されました。彼がどのような規則違反をしたのかは別問題にして、彼のパフォーマン스에 違和感や反感をもった多くの人たちがいた反面、喝采を送る多くの若い世代がいました。そういえば、世代の違う私でも、彼の既成勢力に臆することなく挑戦する態度には、ある種の小気味よさを感じたものです。かつて自分の無鉄砲な時代への懐かしさや、失われつつある若さへの羨望の念が湧いたのかもしれませんが。

年功序列から、実力主義へ移行してきた日本社会は、彼のような若年の『成功者』を数多く生み出しました。優れた能力やアイデアさえ持てば、それに対して答えてくれる社会の仕組みは、一部の傑出した能力の若者に、強力なモチベーションを提供したのです。しかし一方、多数派を占める一般的な若者からは、定職を持たない『フリーター』や『ニート』と呼ばれる人たちが増えている事も周知

の事実です。かつての社会には、つらくても、我慢して努力を続ければ、結婚し子供を育て、家や車を持ち、老後は年金で食べていける経済的な保障がありました。終身雇用で替わった今の成果主義のシステムでは、律儀な努力が必ずしも報われないのです。片や数億円の年収、片や時間給〇〇円という収入の格差だけでなく、希望を持って生きる意欲そのものにも大きな格差が出てきました。

強いものが生き残り、弱いものが淘汰される弱肉強食は自然界の摂理です。前述のような規制緩和は、人間社会をも大いに活気付けるでしょう。このような政治経済や文化が、将来、歴史的にどのように評価されるか私にはわかりません。しかし戦後の匂いが残る時期に生まれ、高度成長期に育ち、バブルに浮かれ、そして挫折を経験した私たちは、もとより経済至上主義の危うさや限界が身にしみているはずで、そして様々な挫折からの立ち直りは、やはり金銭では換えられない家族や仲間との、人間的なふれあい、自分は大勢の人たちのかけがえの無い存在だったのだという思いからはなかつたでしょうか。

介護だけではなく、医療的介入の必要な大勢の高齢者をお預かりしている私どもの病院には、日々リハビリに励むお年寄りの外に、多くの寝たきり患者様がいらっしゃいます。明治大正昭和平成を舞台に、さまざまな人生を生きてきた患者様の目は何を語るでしょう。彼らを回診するとき、彼らを自分と重ね、今更ながらこの世に生を享けた意味、よりよく人間らしく生きる事とはどういうことなのだろうと日々思いを馳せずにはいられないのです。



# 日々の看護、

## 介護の中で

看護総師長 布施紀代子

当院においても、近年認知症の患者様が增えつつあります。日常生活において、ご多聞に漏れず、転倒・転落による事故が多発しております。

昨年病棟内の一部を室内全体にマットを敷き詰めた状態にしたところ、その上で生活されるようになった患者様は安心して睡眠もとれるようになり、転倒・転落事故も少なくなりました。日中はできるだけ見守りを置くようにしたところ、患者様の表情が柔らかくなつたように思います。

また疥癬の発生も、最近目に見えて減少し、昨年からは乾燥室が整備され、定期的にマットレスを消毒できるようになりました。一方外部からの疥癬は水際作戦で効果を上げています。

このように問題点も職員総出で対策を考え、そして何よりも実行することに重きをおき、毎日の看

護・介護に努力している今日この頃です。

今年も院内勉強会を始め、院外研修会、講習会へ積極的に参加し、日常の業務に反映させていきたいと思ひます。



利用者様の送迎中、かわいらしい子供達が2、3人、誠和の車に手を振ってくれました。つられて手を振り返す利用者様。『誰だつたかな?』と思いつつ、利用者様の自宅に着いたので車を降りていくと、さっきの子供達が寄つてきて、

「こんにちは」

と声をかけて来てくれました。よく顔を見てみると通所リハビリの利用者様と定期的に交流会を行なっている小学校の子供達でした。

近頃は核家族が進み、子供達と接する機会がなかなか無いとい

う話を聞き、当方ではここ2・3年、地元の小学校との交流会を頻繁に持つようになりました。小学校側もこの活動を理解してくださり、とても大事にしてくれてあります。普段は気難しいお顔をされている利用者様も、子供達が訪ねてきてくれると、とても優しいお顔になります。

これからも地域の方々、子供達との関わり、そして利用者様の笑顔を大事にし、皆様に愛される通所リハビリを目指して、がんばっていきたくと思ひます。



平成18年1月5日(休) 勇壮な太鼓の演奏

## 医療相談室より

当院の医療相談業務は、現在2名の相談員で行っています。業務内容は当院入院を希望された際の入院相談。そして入院後は患者様が安心して療養されるよう、又患者様のご家族のご要望に添うよう調整します。お身体が回復され、ご自宅に家庭復帰される場合は、担当されるケアマネージャーの方等に情報を提供し、退院後も安心して自宅療養が出来るようご協力させていただきます。

入院中においてご心配な点や経済的な問題等、又退院後のことなど、ご相談があれば、気軽に相談の出来る相談室にしていきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。

### 誠和藤枝病院

医療相談室 杉本・村松

連絡先

TEL 054-638-3111

FAX 054-638-3285

受付時間

平日

8:30~17:00

土曜日

8:30~12:00





# びらびらしんがら 病棟紹介

## 1B病棟

病棟スタッフ共々、明るいアットホームな雰囲気の中、ここ介護病棟が増床されて2年が経ちました。中庭の樹々の蕾は固く春を待っています。また患者様も新緑の中、さわやかな風を受けて散歩できる日を心待ちにしています。院内では四季の移り変わりを少しでも味わってもらえる様、折り紙・貼り絵で壁をにぎわせていますが、自然に恵まれたこのロケーションを肌で感じ、心豊かに穏やかな日々が送れますよう、スタッフ一同、努めてまいりたいと思います。

## 2A病棟

2A病棟は、重症及び全面介助の患者様が多く、常に状態観察とケアが必要となり、忙しい中にあつても、緊張感を持ちながら、日々の業務を行っています。

患者様や御家族の要望を少しでも満たすことが出来る様に、意思



平成18年2月15日(水) 院内まめまき

疎通の困難な患者様に対しては、十分な声掛けをしたり、離床を促したり、清潔を保つ様に努力しています。その中で時折見せてくださる患者様の笑顔は、私達がホッとする一瞬、喜びの一瞬です。また、急性期病院では十分でできなかったであろう残存機能を少しでも活かせるような働きかけができないか、試行錯誤もしています。御家族や患者様からの「ありがとう」の言葉に支えられて、日々業務に励んでいき、今後も家族の方から信頼され、患者様が穏やかに過ごしていただけるように努力していきたいと思っています。

## 2B病棟

昨年の10月から私はこの2B病棟に異動してきました。異動の際に、2B病棟はコールが頻繁にかり、患者様もしつかりしておられる方が多いと伺っておりました。事実、ベッドから自分で立ち上がろうとして転倒されてしまう方も少なくないので、常に患者様の行動には注意して、コールが鳴った時には患者様の下に直ぐに駆けつけるようにしています。

また会話ができる方も多いので、しっかりと話かけています。言葉で話すように心がけています。言葉によつては意味を理解してもらえなかつたり、ご機嫌が悪くなつてしまふ患者様もいらっしゃいますので、言葉遣いも気をつけています。テレビのニュースや患者様のご家族の話題で楽しい一時も過ごせます。

患者様によつては手のかかることも多いですが、私達は患者様を理解し、怪我の無い、安心して過ごせる病棟であり続けるため、日々努力しています。

## 3A病棟

私達3A病棟の朝は、申し送りと体操で始まります。体操は腰痛予防の為、一年以上続けています。ゆつくりとした音楽に合わせて屈伸したり、ひねったりと5分くらい行います。時には患者様も一緒にやってくれます。少しの体操ですが気持ちの良いものです。

そして1日の始まり。小ホールには常に患者様がいらつしやるので、一人は見守り係で事故など無いように目を配っています。他のスタッフはそれぞれの仕事です。私達は忙しく働いているため1日が短く、あつと言う間に過ぎてしまいます。でも患者様達にとつての1日は…。考えさせられます。

「ここはどこだ?」「解らない」「家に帰りたい」と思い出したように口に出す患者様達。みんな人生の先輩です。不安な気持ちを和らげ、やさしく穏やかに過ごしてもらえようなケアの実践が私たちの役目だと確信します。笑顔がいっぱい見られるように接していきたいと思ひます。



\* 言語聴覚士から \*



私達がお話をする時は、まず大脳で言葉を思い浮かべ(①)、口や喉等を動かして声を作り(②)、相手に伝えます。相手側では伝わった音を耳で聞き取り(③)、それを大脳で理解して(④)会話が成立するのです。大脳の損傷で①④が障害されると、言葉の理解や表出に問題がでてくる失語症となります。②が障害されると、発声や発音に異常が生じ話し方が流暢でなくなります。③での問題は聴覚障害です。

大きく言うと、言語聴覚士はこれらのどこにどのような問題があるのかを考えて治療・訓練を行っています。言語障害の多くは外見で判断しにくいいため、周りから誤解されやすいです。是非、周囲の方々も障害について正しく理解して、良い聞き手、良い話し手になって頂きたいです。わからないことなど、なんでも気軽に言語聴覚士に声を掛けて下さい。

健やかな人生を送るために『骨の貯金』を！ 管理栄養士 大塩 美穂

\* 骨粗鬆症とは？ \*

年とともに骨のカルシウム量が減ってくる結果、骨の微細な構造が破壊され、スカスカの状態になることを骨粗鬆症といいます。

骨のカルシウム量が減少すると骨の構造に弱点が生じ、背骨や大腿骨が体重を十分に支えることができなくなり、腰痛や背部痛などの自覚症状がみられます。さらに骨量の減少が進むと、軽い転倒や外傷によって骨折が起こります。

骨量は30歳代に最大となり、その後加齢とともに徐々に減少します。そこで骨粗鬆症の予防として、最大骨量をできるだけ高くもっていき、加齢による骨量の速度をできるだけ遅らせることがあげられます。

成人では1日に600mgのカルシウムが必要です。そこで、まずは今より200mg多くカルシウムをとることを目標に食生活を改善しましょう。

骨粗鬆症を防ぐ10か条

- ①カルシウムをたっぷりとる。
- ②和食中心の食事に。
- ③ビタミンDの豊富な魚をたっぷりとる。
- ④加工食品やインスタント食品は控える。
- ⑤塩分の取りすぎに注意。
- ⑥お酒やタバコは控える。
- ⑦コーヒーや紅茶の飲みすぎに注意。
- ⑧適度な運動を習慣づける。
- ⑨適度に日光を浴びる。
- ⑩定期的に骨粗鬆症検診を受ける。

<カルシウム200mgの目安>

☆乳製品☆	☆小魚☆	☆豆腐類☆	☆野菜☆
牛乳：200ml	めざし：3匹	豆腐：2/3丁	小松菜(茹で)：100g
ヨーグルト：200ml	しらす：40g	納豆：2パック	人参：2本
チーズ：30g	にぼし：10g		チンゲン菜：150g

職員募集

- ◎正・准看護師
- ◎理学療法士
- ◎作業療法士
- ◎言語聴覚士
- ◎介護支援専門員
- ◎介護職員

詳しいお問い合わせは TEL <054>638-3111 担当 事務長

編集後記

新しい年の始の初春の今日降る雪の重け吉事(万葉集巻二十四五五六六伴家持) 昨年からの日本の各地で大雪被害が伝えられています。この歌のように慶事が降り積もっていく年になれば良いと心から願います。院内報「せいわ」の編集にご協力をいただき、ありがとうございました。